

THE Y'S MEN'S CLUB OF NASU NETWORK NASU CHARTERED 1995



那須ワイズメンズク

2016~2017年度 No.210

7月 月報

那須クラブ会長 主題
拓こう 築こう ワイズの世界



強調月間：キックオフ
YMCAサービス
ASF・RBM



6月(河野ワイズ叙勲を祝う)例会 6月16日(金) 於：ピッツェリア ウスイ

2017~2018年度 主題
国際会長：(IP) Henry J Grindheim (ノールウェイ)
「ともに、光の中を歩もう」
アジア地域会長：(AP) Tung Ming Hsiao(台湾)
「ワイズ運動を尊重しよう」
東日本区理事：(RD) 栗本 治郎(熱海)
「広げよう ワイズの仲間」
北東部長：鈴木 伊知郎(宇都宮東)
「距離に負けるな北東部、各クラブの個性を磨きましょう」

クラブ役員 事務局
会長：田村 修也
副会長：村田 榮
河野 順子
書記：内海 研治
会計：村田・鈴木
担当主事：内海 研治
ブリテン：田村・村田

6月例会データ(出席率：83.3%)
在籍者 6名
例会出席者 5名 メネット 2名
ゲスト 2名

今月の聖句
あなたの重荷を主にゆだねよ、
主はあなたを支えてくださる。

詩編55：23

7月 Happy Birthday
7/8 村田紀美子メネット

巻 頭 言

副会長 河野 順子

訪問看護ステーションを活用してください

栃木県には82か所の訪問看護ステーション（以下、訪看S）があります。平成25年には58か所でありましたから結構増加したことになります。しかしながらこの数は、平成27年国勢調査から見てみますと人口10万人当たりの数では全国最下位なのです。全国平均数は、7.13か所ですが栃木県は4.24か所でかなり少ないことになります。

近年、在宅医療とか地域医療といわれています。高齢化に伴い高齢者は身体的虚弱は余儀なく襲ってきます。自然の摂理ですが誰もが認知したくない部分です。動きが鈍くなり、足腰には慢性的に鈍い痛みがあり、風邪をひいたらなかなか治らない。その他の器官も衰えてきていろいろの障害が出てきます。ここで気落ちし、外出や人と会うことを億劫がると新しい言葉で「フレイル」といって心身ともに弱ってきてしまいます。また、「こんなはずはない」と抗い医療機関をあちこち訪ね歩き、薬を服用しても思うように回復しないと医療不信に陥ります。数か所の医療機関でお薬を処方を受けてそれをまじめに全部服用すれば薬害として新たな体の変調をきたします。私自身高齢者なのでこの過程は理解できます。

ならば、自分の想いを聞いてくれ体の事を理解してくれる人がいてさらにそれほどのお金の負担がかからなければ毎日が安心して生活できるかと思えます。それが訪看Sで働く訪問看護師です。「看護師だけでは不安だわ」と感じましょう。大丈夫です。訪問診療という医師が一緒です。病気については医師が診ますが、医師よりも回数を多くお宅に訪問して上記の役割をし、また病院で処置するような手当が必要であれば訪問看護師が致します。自分の生活を自宅で有意義に過ごすためには、いつもは在宅、たまには病院という思いで毎日を送ることも老後の生き方の一つです。みなさまのお宅の近くに訪看Sがありましたら一度訪ねてみてください。

6月（河野ワイズ叙勲を祝う）例会

担当主事 内海 研治

日時：6月16日（金）18：00～20：30

場所：ピッツェリア ウスイ

参加者：田村会長、河野副会長、村田副会長、原田、内海の各ワイズ

メネット：田村、原田

ゲスト：河野さん、荒井前担当主事

合計：9名

6月の例会は、大田原にありますピッツェリア ウスイ（洋食店）にて河野副会長の祝賀会を開催しました。既に多くの方がご存知のことと思いますが、この度河野副会長は春の叙勲で旭日双光章の栄誉をお受けになりました。旭日章は国家または公共に対し功労がある者の内、功績の内容に着目し、顕著な功績を挙げた者に対して授与されるものです。河野副会長は保健衛生の分野での受章となりました。受章に関する記事は下野新聞（4月29日）に掲載されております。



那須ワイズメンズクラブ、YMCAにとりましても、大きな喜び、そして誇りであります。祝賀会では、原田ワイズ

の乾杯にて始まり、河野副会長から受賞についてのお話を伺うことができました。皆で喜びを分かち合うことができ、大変うれしく思います。この度の受章、誠におめでとうございます。今後ともご健康で、尚一層のご活躍を祈念いたします。

6月役員会報告

日時：6月2日（金）18：30～

場所：ココス西那須野乃木店

出席者：田村会長、河野副会長、村田副会長、内海書記、田村メネット

協議事項

1. 6月例会について

河野副会長の叙勲お祝い会を行う。6月16日（金）午後6時30分から、場所はピッツェリア ウスイ。後日田村会長より詳細についての連絡があり。

2. 第20回東日本区大会について

6月3日（土）～4日（日）に川越で開催される。村田夫妻の参加。

3. 新年度計画について

副題は、「高齢化と広域化の意味を問いつつⅡ」とし、①リーダーの望むプログラム一例「身につけたい救急法」②高齢者と家族のために一例「訪問介護について」③日本文化の体験昨年度は茶道体験④那須地域の歴史探訪⑤PCワールド「こんなこともできるPCの世界」等々を考えつつ新年度の例会を行う。

4. 7月役員会について

7月14日（金）午後6時30分よりココス西那須野乃木店にて開催する。

協議内容は7月例会、新年度計画、ブリテンの原稿、

その他

5. その他

・チャリティーラン 6月25日(日) 場所: 栃木県総合運動公園陸上競技場。当日、那須クラブとしてシイタケ昆布の販売を行う。村田メン・メネットが参加予定。

・シイタケ昆布の購入について、チャリティーランにあわせて購入する。

今後の予定

・7月役員会

日時: 7月14日(金) 午後6時30分~

場所: ココス西那須野乃木店

内容: 7月例会、次年度計画、8月号ブリテンの発行等。

・7月(キックオフ)例会

日時: 7月28日(金) 午後6時30分~

場所: 西那須野教会

内容: 新年度計画、会員からの一言、PC講座①
食事はコンビニ弁当。一品持ち寄り。

・第1回北東部評議会

日時: 7月29日(土) 13:00~16:00

場所: とちぎYMCAさくらんぼ幼稚園

の報告とともに熊本地震の報告が西日本区理事よりパワーポイントで熊本YMCAを中心とした働きを見せていただいた。その中にはTV等で見た風景がたくさんあった。全世界のワイズの支援が行われていたことが分かった。その後休憩をはさんで記念公演が一般公開でいずみ鉄道の社長鳥塚亮氏を迎えて「ローカル線を救うおもてなし~危機を乗り越え、地域を元気にする方法~」を題して行われた。1時間30分笑いありで飽きることもなく短く感じた講演会でした。発想の転換と地域の力を活用するためには、地域のことをよく知り地域の人々の力を借りることの大切さを訴えておられた。キャンソングを共に歌うひと時ののち、晩さん会に移り、ワイズの仲間とともにおいしい食事と美酒に歓談を楽しみました。元目黒クラブの方々との交流も致しました。



旧西那須野(那須西原)の緑と水(52回)

田村修也

当那須原野灌溉疏水之儀ニ就テハ、曩ニ私共頻繁ノ切願ヲ奉リ、已ニ其ノ筋へ御上申ノ次第モ有之候、當時遂ニ充分ノ御詮議ニ至ラズ、依テ先ヅ其岩質等、為試験、私共自費ヲ以テ、予メ隧道ノ掘鑿候ノ着手仕度旨、更ニ出願仕候処、早速御許可相成候ニ付、直ニ其工事ニ着手致、爾來日ヲ閲スル茲に百余日、其掘鑿スル処ノ隧道モ、亦既ニ百数十間ニ達セリ、而シテ、岩質適良、位置自然ニ備ハリ、加フルニ、数百年前ノ起エジ係リ、久シク廃絶シタル、旧長島堀ヲ活用シ得ルガ如キ、工事頗ル容易ニシテ、後來万全ノ事業マルハ、已明竅疑ナキニ至リ申候。

而シテ、那須原今日ノ景況タル、新道ノ開通將ニ成功ヲ告ゲ、鉄道ノ敷設亦近キニアラントシ、為ニ戸口漸ク殖へ、土地漸ク闊ケ、既ニ昔日ノ觀ニアラズ、然レドモ、今ニ於テ、速ニ此一大水利ヲ興シ、以テ全原灌溉ノ用ヲ得ルニ非レバ、來ラントスル者去リ、伸ントスル者屈シ、産業終ニ振ハズ、前途ノ興運亦期ス可カラザルハ、是亦睹易キ者ニシテ、今日此水利ノ必要ナルハ実ニ竜を画キ眼ヲ点スルニ均シキ者ト奉存候。

第20回東日本区大会に参加

副会長 村田 榮

去る6月3日(土)・4日(日)の両日に「これまでの20年 温故知人 明日に向かって新しい出会いを」と題し第20回ワイズメンズクラブ東日本区大会がウエスタ川越で開催されました。都合により3日のみの参加でメネットともに出席してきました。

午後12時45分よりのオープンセレモニーは川越まつりのお囃子を披露していただきました。いつも思うことは、残念ながらバナーセレモニーのためにゆっくりと見たことがないことです。バナーセレモニー、開会式(開会宣言・点鐘、ワイズソング、聖書朗読・祈祷、来賓あいさつ、メモリアワー、20周年記念プログラム)、東日本区アワー①(理事年次報告、年次代議員会報告、部長報告、東日本大震災・熊本地震支援報告)と滞りなく進んだ。印象に残ったことを記載すると、各地のワイズは高齢化とメンバー減少・EMCに苦しんでいる様子が見えがえた。東日本大震災

前陳ノ次第ニテ、工事ノ安全容易ナルハ、已ニ測量上及實際ノ試験ニ於テ、疑ナキ事ニ有之、而シテ、私共等、開墾ニ従事スル者ノ水利ヲ望ムハ、大旱ノ雲霓モ畜ナラズ候儀ニシテ、若シ今日ニ於テ、蚤ク御起工ニモ相成候ハバ、必ラズ明年ノ灌溉用水トモ相成、実ニ偉大ノ幸福ヲ可得場合ニ御座候間、方今御国御多端ノ際ニハ有之候得共、何卒格別ノ御詮議ヲ以テ、目下試験中ノ工事ニ引続キ、速ニ御直轄ノ工事、御起業相成候様被成下度、此段不顧再三伏テ奉懇願候以上。

下野国那須郡

那須開墾各社惣代

矢板 武

印南 文作

右に対する郡長副申

那須野疏水之儀ニ付、各開墾社惣代印南文作外一名ヨリ、別紙ノ通出願ニ付、猶実視候処、全ク書面ノ通ニ有之候条、其筋へ御稟申、速ニ御着手相成候様致度、此段副申候也。

明治十七年十月

栃木県那須郡長 荒賀 直哉

印南さん矢板さんは、もう既に五回も上京して、政府当局に対して、ある時は表門から、ある時は裏門からと必死に運動をしましたが、未だ功を奏することができず、遂に明治十八年を迎えてしまいました。試鑿工事の方は、段々進捗して、竣工の日も近づいてきました。しかし困った事には初め借り入れた五千円は、既に使い果たしてしまい、その給料等の未払もできて、印南さん矢板さんの債務となった金額も少なくはありませんでした。この段階で、早く政府の採納するところとならなければ、お二人は覚悟の上で取掛ったこととは言いながら、残る自分の全財産も投げ出さなければならない羽目に陥ってしまいました。そこで、お二人は、更に勇気を鼓舞して、最後の陳情活動することに意を決しました。そして、陳情活動に先立って、次のような嘆願書を作成して、提出いたしました。

(以下次号)

西那須野幼稚園だより

学校法人 西那須野学園 西那須野幼稚園

理事長・園長 福本光夫

先週の金曜日に本園とこひつじ保育園に茨城大学教育学部教授神永直美様、常磐短大幼児教育保育学科准教授木村由希様の視察があり、本園のインクルーシブ教育についての実践、地域子育て支援、そして、イギリスの教育評価機関 Ofsted(オフステッド)やニュージーランドの ERO という教育の第三者評価制度につい

てについて情報交換する機会が与えられました。子ども・子育て新制度前試行前には国の制度設計の事務責任者の1人である厚労省の橋本保育課長の視察もありましたが、今回の幼児教育・保育の研究者が本園の実践について興味を持ち訪問して下さい事は、私たちスタッフにとりまして、子どもたちの光ある未来のために幼児教育の質を更に高めていく上での強い励みになりました。

さて、お子様達からもお聞きになっていることと思いますが、今週一週間は西那須野中学校2年の生徒さんたちが、「マイ・チャレンジ」という職場体験学習として来園し、子どもたちと過ごしています。

何度も紹介していますが、「2011年度にアメリカの小学校に入学した子供たちの65%は、大学卒業時に今は存在していない職業に就くだろう」(キャンシー・デビッドソン氏 ニューヨーク市立大学教授の予測)、「今後10~20年程度で、アメリカの総雇用者の約47%の仕事が自動化されるリスクが高い」

(マイケル・A・オズボーン氏 オックスフォード大学准教授)といわれている通り、皆様のお子様同様、今の中学生もこれからの正解の無い時代、その時、その時の「適解」を見つける人生が予想されます。一般的な「学力だけではなく、「折れない心(レジリエンス)」、「自己統制力」、「(価値観の違う人と)一緒にやり遂げる力」等の人生や職場で必要とされる「非認知能力(スキル)」アップの良き機会ばかりではなく、子どもの人権を大切にしたい親になると考えます。若いとき小さい子どもと関わった経験がある人が親になった時、子どもの虐待をする比率が低いというデータがあるからです。そして、マイ・チャレンジ中学生が来てくれたことは、幼稚園の子どもたちの成長にとって意味ある出会いとなったと考えます。以前、中学生が「子どもの笑顔がみんなを明るくする」感想を述べたことがあります。私たち大人は子どもの笑顔を消さない努力が必要です(2017. 6. 30しらゆりより)。

YMCA報告

【第12回とちぎYMCAインターナショナル・チャリティーラン2017】

6月25日(日)、栃木県総合運動公園陸上競技場とその周辺を会場に、盛会のうちに開催することが出来ました。早朝から雨がぱらぱらと降っており心配しましたが、開会式には雨もあがり、かみさまに祝福されたように思われました。メイン競技の「たすきリレー」には58チーム(昨年度より1チーム増)290名のランナーが参加しました。さらに、90名の代走

ボランティア、313名のボランティア・スタッフ、97名のスタンプラリー参加者、そして10の協力団体の方々など、総勢830名の参加を得て開催することができました。那須YMCAからは15名のボランティアリーダーが参加しています。また、今回もチャリティーランにお越し頂いた方々と思いを一つに陸上競技場を一周する「エンジョイラン」を実施することができました。マイホームきよはらから応援にいらしていたご利用者の皆様も車いすで一緒に回りました。毎年協力して下さる「よさこいグループ 勢や」のパフォーマンスに会場内盛り上がることができました。この大会が盛会のうちに開催できましたことは偏にご支援ご協力くださいました多くの皆様のお陰と感謝しております。

この大会が企業と市民の協働として更に広がりを見せ「障がい児・者と全ての人がともに健康で幸せな



暮らしができるノーマライゼーション社会」づくりの一助となることを願い今後ともご支援ご協力賜りますようお願い申し上げます。

今年も那須クラブ

は、シイタケ昆布を販売しました。

【とちぎYMCA・那須YMCAの7月の予定】

- ・7/1 (土) ICEPウェルカムパーティー@マイホームきよはら ※ステイ先：わいわい道場宿
- ・7/1 (土) サタデークラブ@なかがわ水遊園
- ・7/5 (水) アメリカンデー@宇都宮市青少年活動センター
- ・7/8 (土) サタデークラブ@八幡山公園
- ・7/9 (日) Yキッズ@板荷せせらぎプール
- ・7/8-9 (土日) とちぎ地球市民育成プロジェクト中間研修
- ・7/11 (月) ボランティアスクール説明会@宇都宮市青少年活動センター
- ・7/15 (土) わくわくトライキッズ@尚仁沢湧水
- ・7/22 (土) 那須YMCA 英会話クラスサマーパーティー@那須YMCA
- ・7/29 (土) あそぼまつり@宇都宮市青少年活動センター
- ・7/29 (土) ICEPさよならパーティー@マイホームきよはら
- ・7/30 (土) ICEPメンバー帰米
- ・7/26 (水) よりサマープログラムがスタート

ユースリーダーのつぶやきコーナー

1. 名前 (リーダー名) 2. 学校名 3. 出身地 4. YMCAに入ったきっかけは? 5. 思い出に残った活動とその理由は? 6. 今後の進路は? 7. YMCAに一言

1. 浅野 里実 (さっちゃん)
2. 国際医療福祉大学・看護学科



3. 長野県
4. 友だちに誘われて活動に参加してみたこと
5. 初めてYキッズでPLをやったとき。

理由: 何度も打ち合わせをしたり、リーダー会で遅くまでウォークラリーの準備をしたりして大変だったけれど、当日子供たちが楽しんでいるのを見てとても嬉しかったから。

6. 助産師になって女性や特に妊婦さんを支えたい。
7. 様々な活動を通して、多くの出会いと経験ができたことに感謝しています。

1. 末永 千紘 (ちー)
2. 国際医療福祉大学・看護学科



3. 福島県
4. 学校の掲示板
5. Yキッズ鉄道博物館

理由: 一番最初に参加した活動で子供たちがかわい

くて、とても楽しかったからです。

6. 優しい看護師
7. 子供たちの笑顔がたくさん見ることが出来て楽しいです!

お願い

新年度が始まりました。会の運営のために年会費をお納めください。よろしくお願ひします。

編集後記

梅雨の末期には各地で大雨の被害が大きく報道されています。被害にあわれた方々にお見舞い申し上げます。復興のために何らかの支援をしたいものです。ただ情報が少ないように思っているのは私だけでしょうか?